きよ出制国民年金

4月から保険料を徴収

三つの納付方法

拠出制国民年金制度の保険料の事務は、いよいよ四月から開始されるが保険料の納付方法は、この制度立案当初からの大きな懸案で、簡易保険の保険料徴収などのように集金人を置いて収納する方法、普通の租税と同じように四半期ごとに納入告知書を発行して納付させる方法、印紙を貼り、関係官庁の検認を受けることにより収納する三つの方法について検討を重ねた、その結果、制度の趣旨が国民の間に理解され、普及、浸透し徴収成績も向上してゆく利点や、被保険者の都合のよいときに各月あるいは三カ月分まとめて安易に納付できる点から、スタンプ方式が採用された。

このように、この制度の保険料の納付の方法は、国民年金印紙を毎月購入し、国民年金手帳の所定欄に貼付することによって行なうことを原則として定められている。しかしこの制度の対象者は、その職場、業態、所得能力など千差万別であることを考えあわせ、少しでも保険料の納入をしやすくするため、現金によって納付することができるものとし、前納制度と追納制度がとられている。

…普通は　スタンプ方式で…

被保険者は市町村役場などで売られている国民年金印紙を購入して、国民年金手帳に定められている印紙検認台紙欄に貼付しこれを住所地の市町村役場に提出して消印（検認）をしてもらうと同時に、検認記録欄にも同様な消印を受けることになる。

しかしながら、旅行者や養蜂、売薬を職業としている人たちのように、住所地の市町村役場で検認をうけることが不便な人たちに対しては旅行先の社会保険出張所又は、県国民年金課に手帳を提出すれば検認が受けられるよう便宜がはかられている。保険料の納付はただ単に印紙を購入するとか手帳に印紙をはりつけただけでは保険料を納めたことにはならず、必ず市町村役場あるいは管轄の社会保険出張所などで、貼付した印紙に消印を受けることによって納付したことになる。

…納付の期限…

この保険料の納付義務は、各月発生するものであるから、毎月納付することが当然であるけれど、毎月納めることは不便なことなので月々の納付期限を、それぞれ三カ月ごとに取りまとめあわせて納付することができる。

すなわち、四、五、六月分は七月末日までに七、八、九月分は十月末日までに、十、十一月、十二月分は、翌年の一月末日までに、一二、三月分は四月末日までに納めることになっている。この納付期限までに納められなかった人のために、納付期限経過後であっても当該年度の保険料については、四月三十日まで印紙による納付が認められている。

しかし、四月三十日以後においては印紙によって納付することはできなくなり、直接、社会保険出張所または県国民年金課よりだされる、保険料納入告知書によって現金をもって納入しなくてはならない。

…前納制度と追納制度…

前納制度は、収入時期の一定しない人たちや各月ごとに納めることが面倒だという人たちのために、保険料をまとめて前払する制度で印紙による方法と現金による方法との二つがある。印紙で行う場合は通常の納付方法と同じで、ただ納期の到来していない将来の保険料を納める点が異なっている。現在、印紙による前納は二年を限度とし、割引印紙の発行が検討されている。（十月から発行予定）

現金による前納は、印紙の場合と異なり、事前に都道府県知事の承認を受けることを要しその承認があった場合に初めて納付できるもので、その手続きは簡単にできる。

社会保険出張所か、県国民年金課にある保険料前納申込書に前納する保険料を添えて提出すればよい。また、市町村に提出することもできるが、この場合は申込により社会保険出張所、または県国民年金保険課より納付書が交付され、それにより保険料を納めることになる。

…前納による割り引…

この現金による前納は、一年分、七年分というように申し込むか、あるいは六十才までの全期間分をまとめて前納することができ、通常の印納による場合と違って大巾に割り引きされる。

たとえば、二十五才の人が、五年分前納すれば、毎月払いで六千円のところを、五千二百八十円掛ければよいことになる。また三十五才の人が、二十五年の全期間前納すれば、本来の保険料四万五千円が、二万八百六十円となり、差し引き二万百四十円の割り引きとなり、非常に有利な取扱いとなる。

…保険料の還付…

ところが、保険料を長期間前納しておいて、もしその間に被保険者が死亡した場合は、前納保険料の未経過期間分の保険料はその人の遺族に還付することになっている。

…追納制度とは…

追納制度は、保険料を現に納めることができなくて、免除を受けた人たちに対し免除期間経過後に、保険料を納めることができるような状態になったとき、将来支給される年金額の面で、不利とならないよう免除期間に係る保険料を現金で追納できる方法を考慮したものである。

この方法は、前納の場合と同じように保険料追納申込書を市町村役場、または社会保険出張所に提出し、承認を受けることによって現金で納付することとなる。

…被保険者の正しい理解が…

以上、保険料の納付について述べたが、実際は被保険者が、便利に、より能率的にこのスタンプ方式を活用するためには、社会生活面における被保険者相互間のつながりとともに一つのグループ、あるいは組織を利用することによってより簡単に行うことが、双方のために便利であるわけでたとえば、農業協同組合、漁業協同組合、あるいは納税貯蓄組合といった組織を利用し、より効果的に保険料を納付していくことで、南国市は、農協、商工会などと契約を結び取扱いをすることにしている。

この大規模な国民年金制度の確立は、被保険者の一人一人のこの正しい理解と、あくまで自発的な保険料の納付により、よりよい制度への発展となる。

お誂紳士服は
西田洋服店へ
後免　電話 443

福祉年金所得状況届について

現在受けている福祉年金（老令、母子、障害）は、毎年六月に福祉年金所得状況届を出さないと、次期の年金が受けられません。市では六月につぎの日程により出張し、その届を受付けますのでもれなく届出ください。当日届出をしなかった方は十六日迄に最寄りの会場にきてください。

地区	日時	場所	該当地区
黒滝	6月2日前11時～正午	黒滝公民館	黒滝 中の川 大改野 桑の川
領石	〃 5日前11時～後4時	領石支所	上倉 中部 瓶岩 久礼田 白木谷
国府	〃 6日前9時～前11時	国府農協	国府地区
岡豊	〃 6日後1時～後4時	岡豊公民館	岡豊地区
後免	〃 7日前10時～後2時	後免公民館	岩 野田 後免 宇田 長岡 西部
長岡	〃 8日前10時～後2時	東部公民館	長岡地区
大篠	〃 9日前10時～後2時	大篠公民館	伊達野、大篠
三和	〃 12日前10時～後2時	三和支所	里改田、浜改田、片山
稲生	〃 13日前10時～正午	稲生農協	稲生
十市	〃 14日前10時～正午	十市支所	十市
前浜	〃 15日前10時～正午	前浜公民館	久枝、前浜地区
日章	〃 16日前10時～正午	日章旧出張所	日章

一、持参するもの　印鑑、年金証書。
一、準備するもの　本人の昨年の所得額、職業、配偶者の所得税額扶養義務者の所得税額
一、用紙は、当日持参します。本人又は代筆できる方がお出でください。

労働と学習へのよろこび

稲生婦人学級生の反省

伸びゆく婦人学級!!

市の発足とともに、社会教育の低下が叫ばれていたが、各地での婦人達の学習熱は相当盛んになってきた。石灰に明け、水田に暮れてゆくここ稲生に、婦人学級が作くられたのは昨年のことであった。遅々とした歩みであったけれどもその成果はかなり高く去る日その成果を発表した。

家庭ばかりにとじこもるばかりでなく、よき妻とし、或は子供達のよき母としても婦人達の学習は大切なものだ。嫁と姑の問題も大きな問題であり障害でもあった、しかし家庭の無理解もようやく理解にかわり、婦人達の学習は今日も続けられている。

過去一年を振り返えり、誰れかれなくそのよろこびをつぎのようにつたえている。

入学希望願書数の割合に学習日の出席人員の少なかったのは残念。これには学級生自身の学習に対する努力と、熱意がなければと考える。家族の者の理解が必要だとも痛切に感じました。始めのうちは学級長さんに悪いから行かなければいけないという様に考えていたが話を聞いているうちに誰の為でもない自分自身の学習である事を深く感じ次の学習日が待ち遠しくなった。映画学習で観る人員は多くても、あとの話合いの時帰って残る人が少くなる時があり残念に思った。今後学習を続けて行く上には、学習意欲のある学級生で楽しくまた向上して行く様な学級を希望したい。（中沢淑恵）

非常に良い集りで、もっと多くの人が集ってほしかった。私は一度部落学級を仕事の都合で休んだが、それだけ、とり残された気持がした。そしてよき母、よき妻良き隣人であるかを反省させられ、方向を見出した様な気がし、努力したいと思った。

百姓をしている人や、奥様業だけの人は、時間的にも恵まれ出席出来たが、働いている人が是非とも参加してほしい。その為には、雨降り、休み時間、夜間等の少しの時間に二、三の部落が一緒になって部落学習をしたら良いのではないか。そして、もっとレクレーションを取り入れ、おもしろいふんいきを作ってはどうか。また時には、老人を、夫を、そして子供と共に勉強し、皆に理解して戴くよう工夫したい。良いリーダーが大切であると思った。部落学級で、あの人がリーダーだから会え行かんという声を聞きおどろいた。

この一年非常な勉強になった。無月謝で、多くの先生方のお話をうかがったことは大きな喜びで、今後、婦人学級を発展さすよう、みんなで努力して行きたい。（久万和枝）

中央学級は毎回一部の者の出席に止り部落学級はまずまずという感じ。籍を置きながら一、二回或は全然出席しなかった人も大分あり残念である。理由は、第一に仕事が忙しいことをあげているが、学習内容に現在の自分の立場が合っていない場合があったとも想像される。

方法や講師については大体満足したようであるが、講師の都合で空白が出来、とぎれた感じがしてもの足りなかった。中央、部落を通じて、時間励行を希望しながら、守られず、講師の話の時間や話合の時間が自然に短縮されたのは残念。決められた時間といってわずかの人数で始めると講師の方もやりにくいであろうし途中から話を聞いてもあとの話し合いには充分とけ込めない、だから時間の励行を徹底したい。

向上のため学級をつづけたい人が多い様だから、部落学級を年令や環境別の小グループにするのも方法ではなかろうか。人間関係は日常生活に最も近い問題であるが、その割に頭へピンと来ない。やはり自分達は直接金銭につながる職業的な問題のテーマにもち変えた方が、関心をそゝり出席がよくなりはしないかと思う。（中沢あや子）

私達の部落は風紀上、環境、衛生、青少年の不良化等々新聞の話題に度々あがっており、婦人学級が出来たことは暗夜に火を灯す様なものだと嬉しく思った。

出席状況を、検討してみると十回以上三十%、四回以上三十%・中間が四十%。大体生活水準に比例している様に思う。出席出来ない理由は、仕事が忙しいのが一番で私達は農家と異って毎日が農繁期のようなもので重労働の連続。子供達の勉強は放置して先生にも迷惑をかけてはいまいか。夫の生活はどうであろうか、人間世界の総てが金で解決のつくものばかりだろうか等々分析して下の三十%を引き上げて、忙しい仕事をどのようにすれば、皆と一諸に学級に参加出来るだろうかと云うことを、本年度は研究してみたい。

然し昨年度に膝を交じえて話し合った事は、皆が手をつないで一歩前進出来たことを意味するから相談して方法とテーマを部落に適合したものにし、希望者だけでなく、沈んで行く者を根気よく、さそい合うことによって婦人学級の歌詞の通りまで漕ぎつけたい。（松崎美栄子）

部落学級に、中央学級にと多忙な学習を行なっているうちに閉講になった。諸先生方のそれぞれ特色のある話を聞き反省させられる点が多かったように思い、実行するようつとめたいと思っている。

とくに小林先生の「母は太陽なり」でなつがしがられる母になろうと思っている。人間関係がうまくいくことによって家庭の平和が生まれると感じた。レクレーションでは日ごろの苦労も忘れてしまう。時間が守られず、後半になると出席者の顔が決まってしまったのは残念だが、本年度も夫婦での成年学級が開けるよう念じている。

なお社会情報や新聞へ出ていどの新語の学習をやりたいという声がある。（橋詰妙子）

学級生は農業、日雇い、勤めなどさまざまな仕事をやっているから研究テーマも違ってくる。しかしどの家庭でも人間関係をテーマとしたものはよかった。これに関係する映画〃鳩杖〃はよく、少年院に入っている少年の更正録音では明かるい家庭をつくらねばならぬことを感じさせられた。

こんごも学級を続けていき料理の方面も研究したい。（戸梶光子）

編集後記

△また相当遅れてしまった。本当に申訳ないことです。次号は、と馬力をかけているつもりですが原稿の集まりのおそいのも頭痛のたねです。原稿は早や目にどしどしおよせ下さい。

△広報に掲載されている写真にうつっている方で、写真を希望される方は申し出でて下さい、無料で差し上げます。